

本日の新聞概観
本日朝刊は何れも議会の財政経済問題の質疑應答が中心である。本日衆議院では陸相のノモンハン事件の説明(秘書會)、外相より淺間丸事件の報告が行はれる模様、尙支那に中央銀行設立との蔵相答辯が注目される。滬越線道問題で佛の對日抗議が目をひく。其他「朝日」に「北支の經濟輸送路開發(野村天津特派員)」、「讀賣」に「物價政策の再出發(橋谷善一)」、「朝日」に「五原攻略、朔北作戰の意義」がある。

本日の新聞概観

第四百四十八號

内閣情報部報道班二・六(火)

△概観

本日朝刊は何れも議会の財政経済問題の質疑應答が中心である。本日衆議院では陸相のノモンハン事件の説明(秘書會)、外相より淺間丸事件の報告が行はれる模様、尙支那に中央銀行設立との蔵相答辯が注目される。滬越線道問題で佛の對日抗議が目をひく。其他「朝日」に「北支の經濟輸送路開發(野村天津特派員)」、「讀賣」に「物價政策の再出發(橋谷善一)」、「朝日」に「五原攻略、朔北作戰の意義」がある。

△國內關係

一、議會關係
五日衆議院の質疑應答中各紙が重視してゐる點左の如し

- イ、支那に中央銀行設立、北支貯銀は存續(蔵相答辯)
- ロ、デフレ策の言明を否定、生産獎勵金交付に背意を明示(蔵相答辯)
- ハ、石炭の國家管理の意なし、中小商業の免許制考慮(商相答辯)
- ニ、生産擴充の行詰り打開に總力發揚委員會創設に言及(商相答辯)
- ホ、米價絕對に引上げぬ、專相言明

50

へ、米穀出廻對策に獎勵金意圖せず、農相言明

ト、勝源相提言（「今年の湯水は異常であつて諸君が輕々に考へてゐるやうな程度のものではない」）を取消す

三、齋藤代議士懲罰問題

イ、民政黨態度、情實を排して審理

ロ、時局同志會、除名一本論

ハ、各紙の見透し

軍部や政府の氣勢が影響（朝日）、登院停止程度が（日日）、懲罰委員會議長招致問題で

一波瀾か（讀賣）、大體は登院停止（都）

三、秘密會での説明、國民の憎去りは奇怪（國民、講會報）

△對外關係

一、佛も對日抗議（瀨越線爆撃問題）

瀨越線爆撃に關し米國が駐日大使をして非公式申入れをなさしめた旨のワシントン朝日特電があつたが今朝各紙は、駐佛澤田大使に對し佛國政府は抗議中であつたがアンリー駐日佛大使も五日午後外務省を訪問約一時間に亘り會談の上再び正式文書を以て抗議申入れた旨報す。

一、瀨間丸事件

（有田外相兩院に報告、公文發表は六日午後

有田外相は六日の貴衆兩院本會議に積極的發言を求めて瀨間丸事件の交渉顧未並に諒解を説明するが日英交渉公文は同日午後東京及びロンドンで同時發表される。尙本日記事によれば四日午前の谷ドツツ會見では正式覺書交換を了したと報せられてゐる。

（豆獨大使瀨間丸事件賺取

オットー獨大使は五日午後外務省訪問

一、民主、共和兩黨とも性急論には當惑（對日禁輸案）（ワシントン日日）

民間の空氣はとにかくとして對日禁輸を急速に實行に移すのは差控へんとするのが政界一般の意向のやうであるとして次の四種意見が行はれてゐることを紹介してゐる。

一、ナイ（共和）ダウニー（民主）孤立派……一方的な禁輸案は戦争への導火線なりとし、

むしろ凡ての外國への武器輸出禁止を支持。

二、シユウエレンバツハ派（民主）……日本の對支行動阻止策として對日禁輸を支持。

の立場を維持して平和維持につとめる(四國は相互友好關係を維持促進に力め相互經濟通商の紐帶を固める)四次回會議は一九四一年二月アテネに開催する

(ロ)土羅對立列強勢力反映漁夫の利伊へ(バーゼル讀賣)

(ハ)英佛の策動ソ聯通信社暴露(モスコ同盟)

(ニ)ソ聯エストニアに謝罪(空爆事件)(モスコ同盟)

(ホ)抗日華僑に退去命令(シンガポール同盟)

(ヘ)エチプト棉花輸出税賦課(横山公使發)

八月十五日から百斤に付二十ピアストルを賦課。

(イ)印度民族の戦線統一運動(ニューデリー朝日)

カンデーは回教徒領袖ジナトと共に總督を訪問する。一方ベルガル州政府首相は各州は

戦時協力を組織し印度民族の權利を護るべしと唱道

六日付夕刊

△國內關係

一、軍事扶助費増額可決(衆議院豫算總會)

二、現在の作戦兵力に變化を豫想し得ず、陸海相軍事費追加案説明

三、小山議長不信任案上程されず

政友革新派撤回に決し、政、民提携により當分議長不信任案は上程せず決定

四、齋藤氏懲罰委員會開く(審議資料を要求)

五、其他「齋藤氏の場合(室伏高信)(讀賣、一日一題)」「齋藤事件、タブーを避けよ(都、狙撃兵)」

△對外關係

一、米、石井・ランシング協定、山東還付に關する外交文書近く發表(ワシントン同盟)

ランシング國務長官がハイディング大統領と衝突し辭職の際國務省から擯去つたのを今

回遺族から國務省へ返し政府の費用で印刷するといふIAPの國務省擔當記者バーデン

グ氏の説。

「讀賣」第一面中段邊に「日米外交秘密文書米近く發表に決す」の三段抜き見出しで注意を呼び「都」は第一面上方に四段抜き見出しで取扱ふも「日米間の外交文書米政府近く公表」と種々な見出しを附す。「朝日」は「石井・ランシング協定秘密條項米國務省近く發表」と二段抜き見出しで扱ふ。

一、淺間丸事件外相おす議會に説明（各紙）

△東亞關係

一、臨河を占領（オールドス戦況）（包頭同盟）

一、北支蒙疆外務現地會議（五日於北京大使館）（北京日日）

一、米大使乘艦射擊事件（目撃者談）（上海同盟）

△歐米關係

一、バルカン會議終る（ベルグラード同盟）

一、英土新通商協定（三日調印）（ロンドン朝日）

一九三六年の一般通商協定に代るもので一月初旬バリで調印英佛土三國協定とは別

朝刊論説題目

「朝日」 審議の本筋に復讐せよ、バルカンの現状維持

「日日」 バルカンの動行、マツチの増産問題

「讀賣」 バルカンの不安解消せず

「中外」 對日禁輸案と日米關係

「報知」 陳腐な民需論（議會の低調を駁す）

「國民」 既成政黨に告ぐ

「都」 齋藤事件餘波、擴大の方向、内閣の對流、政局の新形相、當路の責務



内閣情報部二七 情報第一號

四川支那語放送

二月一日

（臺灣總督府交通局遞信部聴取）

一、山東省内に於ける敵の厭戰振は高密のみにても自殺者絶へず
山東省某地三十一日電 敵が對支作戰以來僅かな地域を占領したりと雖我軍の痛撃に依り多大の損害を蒙り且つ我軍は愈々強さを増し戦地にある敵將兵は前途の暗慘たるを思ひ意志堅固なるものは上官の命令を拒み我軍に投降し意志薄弱なるものは只自殺の一途を辿るのみである、一昨日高密の敵軍は厭戰により前後して終死を遂げたるもの五名の多きに達した、之によつても敵軍の崩壊が目睫に迫つて居ることが知れる。

一、敵國の米不足甚だし

香港三十一日東京電 日本の米不足は甚だしきものである、即ち讀賣新聞の報道によれば一部の方面では米の切符制度實施を主張して居るが實行困難のため放棄せんとして居るも企畫院に於ては米の統制に就ては其の必要を認め人口による米の割當制を實行し其幣害を除かんとして居る。

一、敵國の石炭不足愈々甚だし

51